						计侧音									半成 28	年 3 月 4 日	
	の名称				美による中心市街地の交流 エルー (2018)												
	の期間		平成22年	F度 ~	平成26年度 (5年間)	交付対象	水戸市,	上浦市,ひたちなか市									
町田	の目標	<u>」</u> : 往:: 441 / ア ま 2	いて +	州の公理	始かの健会わ言度利用し	初古機能の再英な士としまた。 初古空間	の回送性の	ないはんは あいけいも	と伝訊の軟件も	ž b++	さ年1、 /	ァギわる	理接の倉	11出7を高さ	1 夕卅44	ジカ法士で加占	
	甲心川の形成を		, , , <u>T</u>	地の合理	:的がつ健王な向及利用と	都市機能の更新をするとともに、都市空間]の回避性ペ	例外性の同工, 更には公ま	・旭政の登開なる	., 人々 //	3条い, (CB 477	現児の 目	1団(こ回)	け, 多世代の	4文加り つ拠点	
	*>/ID/#XI &	н 1 н 7 о															
計	画の成果目																
	・中心市	f街地にお	ける歩行	者通行者	·数を約11,360人(H21年	: 当初) から約13,800人(H27年:事業完	三了後)に増	加させる。									
定	量的指標の	つ定義及び	7算定式						定量的	が目標値			/	備考			
	p				•				当初現況値	中間	目標値	最終		L	1佣-与		
	>	* 1:1-1 2 1 -	7 IL /- +	\\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\					(H21当初)			(H27事)	(完了後)	ł			
	甲心巾街	f地におけ	る歩行者	迪行者数	Co				11,360人/日	-	_	13, 80	0人/日	1			
			\triangle	·計·					効果促進導	事業費の3	訓合						
				в+с)	1,120百万円 A	857百万円 B 259百万	円 C	C 4百万円		C/(A+B+C)		0.4%			0.4%		
							後評	Æ			,						
○事後	評価の実施	市体制 事	2施時期			7	1文計	1ш									
	西の実施体		C///C=1/4/				事後評価	の実施時期									
								平成28年3月									
水戸市,	土浦市,	ひたちな	たか市				公表の方										
								ホームページ									
4 ÷	寸対象事業	* ^ * + t- 11	E-2m														
交付対		その進捗が	(沈														
A1 基																	
番号	事業	地域	交付	直接		要素となる事業名		事業内容			東紫宇	施期間	(任産)		A 64-year also title	備考	
田力	種別	種別	対象	間接	事業者	(事業箇所)		(延長・面積等)	市町村名	H22	サ来天) H23	H24	H25	H26	全体事業費 (百万円)	NH 3-7	
1-A-1	再開発	一般	水戸市	間接	泉町1丁目北地区市街地再開発組合		商業、業	務施設等 A=1.1ha	水戸市	1122	1120	112-1	1120	1120	0		
1-A-2		一般	土浦市	直接	土浦市	土浦駅前北地区第一種市街地再開発事業		,業務施設等 A=0.8ha	土浦市						416		
1-A-3		一般	ひたちなか市	直接	ひたちなか市	勝田駅東口地区第一種市街地再開発事業	_	泊施設等 A=1.5ha	ひたちなか市						441		
	•	•	•			•	•		•	•		合計			857		
B 関注	車社会資本	マ 整備事業	É														
番号	事業	地域	交付	直接	事業者	要素となる事業名		事業内容	市町村名	HOO		施期間		HOC	全体事業費 (百万円)	備考	
1_D_1	種別 街路	種別	対象	間接	土浦市	土浦駅西口広場整備事業	西口広場	(延長・面積等) 整備 A=9,800㎡	土浦市	H22	H23	H24	H25	H26	38		
1-B-1	-	一般	土浦市	直接											H + +		
1-B-2	街路	一般	土浦市	直接	土浦市	駅前東崎線整備事業		線整備 L=80m, W=14m	土浦市						17		
1-B-3	道路	一般	土浦市	直接	土浦市	土浦駅西口ペデストリアンデッキ整備事業	ペデストリフ	アンデッキ整備 L=100m, W=3.5m	土浦市						204		
												合計			259		
番号	一体的に	実施する	ことによ	り期待さ	れる効果											備考	
1-B-1	1-A-2施彳	行地区に関	粦接する 関	駅前広場?	を整備することで, 1-A-2施	行地区を含めた駅周辺地区における交通	の利便性と多	安全性の向上を図る。									
1-B-2	1-A-2施行	宁地区内 夕	外の駅前頭	東崎線を一	-体的に整備することで,	施設建築物利用者の動線を確保し、その	利便性と安全	全性の向上を図る。									
1-B-3	1-A-2施彳	行地区に持	妾続する~	ペデスト	リアンデッキを一体的に鏨	を備することで、駅周辺地区の人の流れを	円滑にし、そ	その利便性と安全性の向上	を図る。								
C 効	果促進事業	¥															
番号	事業	地域	交付	直接	事業者	要素となる事業名		事業内容	市町村名 港湾・地区名		事業実	施期間	施期間 (年度)		全体事業費	備考	
	種別			間接						H22	H23	H24	H25	H26	(百万円)		
	施設整備	+	土浦市	直接	土浦市	新図書館整備事業	新図書館		土浦市	1				 '	1		
1-C-2	施設整備	一般	ひたちなか市	直接	ひたちなか市	施設等案内サイン設置事業	施 設等案	内サイン設置4箇所	ひたちなか市	1				$\vdash \vdash \vdash$	3		
	1	1		Ļ		1				1	<u> </u>	∆ ∌I.	<u> </u>	لــــــا	4		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	1-A-2の中核となる新図書館を整備することで,市民の利便性の向上と駅周辺地区の賑わいの創出を図る。	
1-C-2	1-A-3の施設建築物等の案内を記載した案内サインを設置することで,集合住宅及び宿泊施設等の利用者の利便性を高める。	

事業効果の発現状況、目標値の達成状況

交付対象事業の効果の発現状況

計画期間中に事業完了した勝田駅東口地区において、以下の効果を生み出した。

- ○居住人口の増加
- ・住宅棟(I街区)のマンションは供給された50戸全てが入居しており、居住人口の増加に貢献している。
- I 定量的指標に関連する
- ○交流人口の増加 ・宿泊棟(Ⅱ街区)のホテルは101室あり、稼働率は約85%となっており、交流人口の増加に貢献している。
- ・新設した公益施設である市民ギャラリー,コミュニティギャラリーは,合わせて年間約32,000人に利用されている。NPOやボランティアなど市民交流の拠点となっており,交 流人口の増加に貢献している。
- ・商業施設には5店舗全てが出店し、業務施設には2社全てが出店し、施設利用者が増えたことで交流人口の増加に貢献している。

Ⅱ定量的指標の達成状況

指標:中心市街 地における歩行 者通行者数の増

最終目標値

最終実績値

13,800人/日 水戸市:5,700人/目 土浦市:4,500人/日 ひたちなか市:3,600人/日

9,921人/日 水戸市:3,644人/日 土浦市:2,551人/日 ひたちなか市:3,726人/目 目標値と実績値 に差が出た要因

泉町1丁目北地区(水戸市)及び土浦駅前北地区(土浦市)の2地区において,東日本大震災の影響などにより 進捗に遅延が生じ、計画期間中での事業完了に至らなかったため、事業効果の発現が見込めず、さらには、中 心市街地内の商業施設の撤退等の影響により歩行者通行者数が減少したことによる。

なお、計画期間中に事業完了した勝田駅東口地区(ひたちなか市)については、住宅棟(Ⅰ街区)のマンショ ン全50戸、商業床、業務床とも全て入居(出店)がなされたことで歩行者通行者数の増加につながり、ひたち なか市における実績値は目標値を上回る結果となった。

計画期間中に事業完了した勝田駅東口地区において、以下の効果を生み出した。

Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)

- ○駅前広場の市民満足度
- ・再開発前は、駅前広場について満足している方は40%であったが、再開発後は78.9%となっており、再開発事業完了により駅前広場の市民満足度は大幅に向上した。
- ○駅前広場でのイベント開催
- ・商工会議所主催のイベントやNPO法人主催のイベントなどが、憩いの広場や公共広場で開催されており、にぎわいの創出、多世代の交流に貢献している。

3. 特記事項(今後の方針等)

本整備計画において、1地区 (勝田駅東口地区) の市街地再開発事業が完了し、これにより歩行者通行者数の増加などの効果を生み出し、中心市街地の交流拠点の形成という目標が達成された。当該地区においては、今後とも、に ぎわいの創出を通じて、中心市街地の歩行者の増加を目指し、市の玄関口としてふさわしい都市空間及び交流拠点としての機能を保持していく。

一方、東日本大震災の影響などにより、2地区(泉町1丁目北地区・土浦駅前北地区)の進捗に遅延が生じ、計画期間中での事業完了に至らなかった。これらの2地区においては、今後も引き続き市街地再開発事業を推進することに より,中心市街地における歩行者通行者数の増加などの効果が期待できることから,2期計画として「水戸市における市街地再開発事業による中心市街地の交流拠点の形成」「土浦市における市街地再開発事業による中心市街地の交 流拠点の形成」をそれぞれ策定し、継続して事業の推進に取組んでいく。

(参考図面) 市街地整備

